

第2学年 学級活動（1）指導案

令和元年 9月12日（木） 第5校時

1 議題 「2年〇組 ミニ運動会をしよう」 （ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、男女問わず仲が良く、元気に挨拶をしたり、クラスの友達が困っているときに優しい言葉がけやサポートをしたりするなど、思いやりのある児童が多い。

学級活動については、4月に学級会のオリエンテーションを行い、学級会の進め方や意見の発表の仕方、話合いの約束などについて共通理解を図った。その後、「学級会の名前を決めよう」「学級目標を決めよう」「オリジナルキャラクターを作ろう」「ミニオリンピックをしよう」などの議題で話合いを積み重ねてきた。学級会の時間になると、自分たちで準備を行い、話合いに意欲的な姿が見られる。これらの活動を通して、児童は活発に意見を交流させ、話し合っただけの楽しさを感じながら、学級会の進め方が少しずつ身についてきたようである。また、計画委員となった児童たちは、お互いに声を掛け合いながら事前の準備を進めたり、学級会の進行中にはサポートしたりしながら話合いを進めている様子が見られる。しかし、自信がなかったり、自分くらい意見を言わなくても大丈夫だろうと思ったりして、発表に消極的な児童もいる。

（2）議題選定の理由

本議題は、7月に行った「ミニオリンピックをしよう」での振り返りをした際に、児童が何気なく発した議題案の1つとして挙げたものである。ミニオリンピックでは、児童なりに準備を進めていたが、実際にやってみたら、種目が思うように進まなかったり、係同士の連携がうまくいかなかったりと、悔いの残る振り返りとなった。そこで、児童から「次は、チーム分けは力の差が同じになるように分けたほうがいい。」「もっとみんながわかりやすいルールでやったら楽しくなるのではないか。」「賞状は、優勝と準優勝の両方に作ったら、みんな喜ぶものになるのではないか。」というような具体的な改善策が意見として挙げられた。そして、今回、「今度はミニ運動会をやってクラスの仲を深めたい」という提案理由の議題が選定された。これまで実践してきた活動を思い出しながら、話し合うことで、より主体的に提案理由に沿った内容の工夫や係について考え、発表したり、友達の意見を聞いたりし、クラスにとってよりよいものを作ることができると考えた。

また、工夫についての話合いを中心に進めるために、種目は「玉入れ」と「リレー」に決めている。そのため、「どんな工夫ができるか」「どんな係が必要か」という2点について、互いの意見を尊重しながら協力して実践できるよう指導していく。ミニ運動会を通して、学級内の人間関係を深めながら、自分たちの力でよりよい学級をつくっていかうとする自治的能力や自主的、実践的な態度を育てていきたい。

3 本校研究主題との関連

本校の研究主題は、「変化する時代を主体的に『生きぬく力』の育成」である。その視点から、本学級の児童たちに、「様々な考えをもつ他者との話し合いを通してよりよい策を導き出せる力」がつくよう、あらゆる場面で指導してきた。

授業では、ペアやグループでの話し合いの機会を多く設け、自分の意見を相手に伝えることと、他者の意見に耳を傾けることを意識させてきた。そこで自分と異なる立場の意見と出会った場合には、「感じ方、考え方は人それぞれだ」ということを理解させ、それを認め合うことができる雰囲気づくりに努めた。

係活動では、「2年〇組のみんなが楽しくなよくなるための係にしよう」と共通理解を図ってから始動させた。また、教室にカレンダーや共用の文房具、係ごとのお知らせホワイトボード等を置き、児童がより自主的に活動できるようにした。

このような活動を通して、児童の姿は少しずつ変容してきた。初めは、係のメンバー同士での意見のぶつかり合いがあったり、そこをクリアすると、今後は係同士でのトラブルがあったりした。しかし、徐々に自分の意見を押し通すだけでなく、相手の意見にも耳を傾け、話し合いを通して児童たちなりの最善の策を出し、トラブルを乗り越えられることが増えてきた。また、自分たちで計画的に係の準備を進め、学級のみんなが楽しめるようなイベントや活動を行う場面も増え、「前はこういうところがよくなかったから、今度はこうしてみよう」というように、次に生かそうとより主体的に取り組む児童も見られるようになった。

今回の学級会においても、議題の提案理由やめあてに沿った自分の考えをもち、それを伝えたり、他者の考えを聞いたりして合意形成をできる場や時間を設け、主体性をはぐくんでいきたい。

4 これまでの取り組み

- ① 学級会オリエンテーション（4月）
 - ・学級会での意見の発表の仕方（資料1）
 - ・学級会ノート（資料2）
 - ・議題ポストの設置
 - ・議題提案カード（資料3）
 - ・議題案の掲示（資料4）
 - ・学級会予定表（資料5）

- ② 計画委員会について（5月）
 - ・輪番制（資料6）…機会を均等にするために、番号順で組織した。
 - ・活動計画（資料7）
 - ・記録用ノート（資料8）
 - ・計画委員活動チェック表（資料9）

③ 議題と指導内容

	議題	児童の様子	指導内容
一学期	4月 「学級会の名前を決めよう」	<ul style="list-style-type: none"> 意見をたくさん出すことができる。 「～さんに付け足しで…」などの言葉を活用して発表できる。 「まとめる」の時間で意見がまとまらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の話合いの流れを確認する。 意見の発表の仕方を確認する。
	5月 「学級目標を決めよう」 (計画委員①)	<ul style="list-style-type: none"> 意見に理由をつけて発表できる。 意見の比べ合いが難しい。 意見を発表する児童とそうでない児童の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を言って終わりではなく、友達の意見についても自分なりの考えをもつようにする。
	5月 「オリジナルキャラクターを作ろう」 (計画委員②)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの児童が賛成していた意見があったが、数名の児童がそれぞれ自分の意見を主張し続け、反対。お互いの言い分を主張し合い、話合いは平行線の状態が続く。 	<ul style="list-style-type: none"> 反対・少数派の意見も尊重した上で、両者の意見を比べて、クラスにとってよりよいものを決定していく。 時には、周囲の意見に賛成する折り合いをつけることも必要である。
	7月 「ミニオリンピックをしよう」 (計画委員③)	<ul style="list-style-type: none"> 運動が得意な子と苦手な子が楽しめる種目を考えることができる。 オリンピックらしくするために必要な準備や係を考えることができる。 時間内にまとめることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由やめあてに沿った意見を考える。 司会や副司会は時間を見ながら話合いを進めていく。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ○「係の仕事を工夫しよう」 ○「星の子まつりを楽しくする工夫をしよう」 ○「2学期まとめの集会の計画をたてよう」 など 	<p>指導のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> 話合いの基本的な決まりが身につくように、話合いができるようにする。 計画委員が中心となって話合いを進め、役割を意識できるようにする。 学級生活を楽しくするための集団決定ができるようにする。 	
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ○「クラスの文集を作ろう」 ○「係の仕事のまとめをしよう」 ○「2年生まとめの集会を計画しよう」 など 		

5 第1学年及び第2学年の評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	楽しい学級生活に向け、話し合っ解決することや他の児童と協力して取り組む大切さを理解し、話合いの基本的な決まりを身に付けている。	仲良く助け合い、学級生活を楽しくするために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級における人間関係をよりよくし、他の児童と協力しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

6 事前の活動（本時に至るまでの活動の流れ）

【計画委員会の活動】

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
8月21日(水)	・提案ポストの議題案を確認し、話し合う議題を選定する。	・それぞれの議題案に目を通し、議題選びの視点を念頭に置いて選定できるようにする。	◎よりよい学級生活をつくるために、進んで議題を選ぼうとしている。 (主体的に取り組む態度) 【提案カード、観察】
9月6日(金) 10日(火) 昼休み	・活動計画を作成する。 (提案理由、めあて、話し合うこと、決まっていることの確認) ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・学級会コーナーの掲示を作成する。	・提案者の思いや願いを学級全体で共有できる活動計画を立てられるようにする。 ・提案理由に沿っためあてが考えられるように助言する。	◎計画委員の役割や話し合いの進め方等を理解している。 (知識・技能) 【活動計画、観察】
9月11日(水) 業間休み 昼休み	・全員の学級会ノートに目を通す。	・話し合いの見通しをもてるようにする。	

【学級全員の活動】

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
9月6日(金) 帰りの会	・議題を決定する。	・計画委員会の提案を基に全員で決定する。	◎よりよい学級生活をつくるために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 (主体的に取り組む態度) 【観察】
9月10日(火) 朝の会	・提案理由や話し合いのめあてを踏まえ、自分の考えを学級会ノートに記入する。	・話し合うことや決まっていることが共通理解できるよう必要に応じて助言する。	◎目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 (思考・判断・表現) 【学級会ノート】
9月12日(木) 朝の会	・学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉を記入し、話し合いの意欲を高める。	

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

自分の意見に簡単な理由を付けて発表したり、友達の意見をよく聞いたりして、クラスの仲がもっと深まるようなミニ運動会の計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

第4回 2年〇組 学級会 活動計画 令和元年9月12日(木) 第5校時			
議題	2年〇組 ミニ運動会をしよう		
提案理由 提案者	1学期にやったミニオリンピックも楽しめたのですが、うまくいかなかったこともありました。今度は2年〇組ミニ運動会をみんな楽しんで、クラスの仲がもっと深まるといいと思ったので提案しました。		
司会グループ	司会	〇〇〇〇	黒板記録 〇〇〇〇 ノート記録 〇〇〇〇
	副司会	〇〇〇〇	黒板記録 〇〇〇〇
話し合いのめあて	楽しく、仲が深まるミニ運動会の工夫と係を考えよう。		
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・9月25日(水) ・1時間でやる ・校庭で実施する ・種目は玉入れとリレー 		
話し合いの順序	気を付けること		準備
1 はじめの言葉	・大きな声ではっきりと言う。(司会)		・説明の紙
2 計画委員の紹介	・一人ずつ役割と名前、めあてをはっきり言う。		
3 議題の確認	・大きな声で分かりやすく説明する。(司会)		
4 提案理由の確認	・みんなに伝わるように説明する。(提案者)		
5 めあての確認	・黒板に書いて、忘れないようにする。		
6 決まっていること の確認			
7 先生の話			
8 話し合い 話し合うこと① 「どんな工夫ができるか」 (20分間)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に短冊をはって、意見を整理できるようにする。 ・提案理由に沿った種目の工夫を考えてもらう。 		・学級会 ノート
話し合うこと② 「どんな係が必要か」 (10分間)	<ul style="list-style-type: none"> ・①で決まったことをもとに、必要な係を考えてもらう。 ・自分たちにできるか考えてもらう。 		
9 決まったこと の発表	・わかりやすくまとめて発表する。(ノート記録)		

10 振り返り	・話し合いを振り返って、感想を書く。 ・時間があれば、2、3人に発表してもらおう。	
11 先生の話		
12 おわりの言葉	・ミニ運動会に向けて元気よく言う。(司会)	

(3) 教師の指導計画

日 時	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
1 はじめの言葉	・明るい雰囲気話し合いができるように助言する。	◎提案理由に沿った内容の工夫や係について考え、進んで自分の意見を発表している。 (思考・判断・表現) 【観察・学級会ノート】 ◎話し合いの進め方や約束を理解している。 (知識・技能) 【観察・計画委員活動計画】
2 計画委員の紹介	・自分のめあてが言えるように、事前に指導する。	
3 議題の確認	・提案者の思いや願いを学級全体で共有させ、全員の問題であることを確認する。	
4 提案理由の確認	・本時の話し合いの大事な部分であるため、改めて確認させ、しっかり意識しながら話し合えるようにする。	
5 めあての確認	・めあてに沿った話し合いができるように助言する。	
6 決まっていること の確認	・決まっていること <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日時…9月25日(水)2校時 ・場所…校庭 ・時間…1時間 ・種目…玉入れ、リレー </div>	
7 先生の話	・提案理由やめあてを意識させるとともに、話し合いへの意欲を高められるようにする。	
8 話し合い 話し合うこと① 「どんな工夫ができるか」	・司会が進行に困ったときや話し合いの方向性がずれたとき、自治的活動の範囲を超えそうな場合には、児童の合意形成を方向づけしないように留意しながら助言する。 ・発表者が偏らないようにできるだけ多くの児童が発表できるように助言する。 ・少数派の意見もしっかりと取り上げ、話し合いが深まるよう助言する。	
話し合うこと② 「どんな係が必要か」	・自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについて助言する。	
9 決まったこと の発表	・ノート記録の発表に不足のある場合は助言する。	

10 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった点や課題についての自己評価と友達のよかった点などの相互評価ができるように助言する。 ・提案理由や全体を意識した発言、折り合いをつけて合意形成できたこと等を称賛するとともに、今後の課題も伝える。 ・計画委員へのねぎらいと、今後の見通しや実践に向けて意欲が高まるように言葉がけをする。 	
11 先生の話		
12 おわりの言葉		

8 事後の活動

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
9月13日(金) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・役割分担が決まっていなければ、係の役割分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員には、学級会で決まったことを学級会コーナーに掲示するように助言する。 ・係は複数名で担当し、協力して活動できるようにする。 	◎合意形成したことを基にみんなで協力し、進んで準備に取り組んでいる。 (主体的に取り組む態度) 【観察】
9月17日(火) ～24日(火) 業間休み 昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに活動計画を立て、準備を進める。 ・途中経過を報告し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の状況を係ごとに報告し合いながら活動意欲の継続化を図る。 	
9月25日(水) 2校時	<ul style="list-style-type: none"> ・「2年〇組ミニ運動会」を行う。 ・集会終了後、感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・自分の態度を振り返るとともに、友達のよいところについても認められるように助言する。 	◎めあてを意識しながら友達と協力して実践している。 (思考・判断・表現) 【観察、振り返りカード】